

# クロアチア政治・経済の概況



Dubrovnik\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta  
【ドブロブニク旧市街】

2025年3月  
在クロアチア日本国大使館

# 目 次

- 1 基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 2 政治体制・内政・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 3 外交・国防・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 4 経済概況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 5 日・クロアチア経済関係の概況・・・・・・・・ P 18
- 6 クロアチアの投資環境・・・・・・・・ P 21

# 1 基本情報



## 【基本情報】

人口：約386万人(2023年) (クロアチア統計局)

実質GDP：826億ドル(2023年) (世界銀行)

面積：56,594km<sup>2</sup> (日本の面積の約15%、九州の約1.5倍)

首都：ザグレブ(人口約77.1万人、2023年) (クロアチア統計局)

宗教：カトリック、セルビア正教等

通貨：ユーロ (2023年1月より導入)

公用語：クロアチア語

在クロアチア邦人数：約170人

姉妹都市：川崎市とリエカ市(1977年～)

京都市とザグレブ市(1981年～)

碧南市とプーラ市(2007年～)

## 【国の特徴】

### ①旧ユーゴスラビア紛争からの復興

- ・1991年に旧ユーゴスラビアから独立。独立を巡り、1991年から1995年、武力紛争が生じた。その後は戦後復興と民族和解を推進。

### ②観光大国

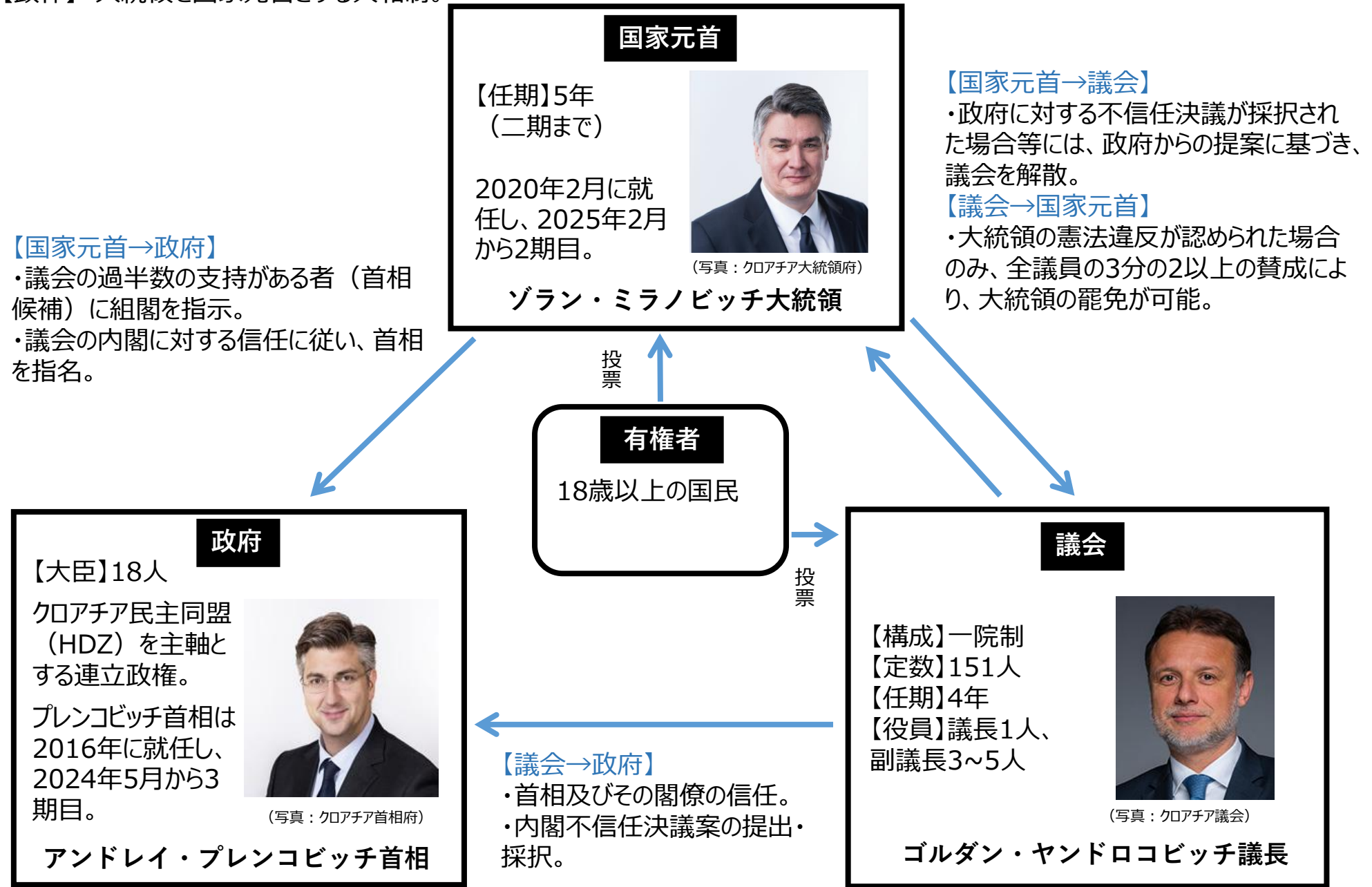
- ・アドリア海に面する風光明媚な海岸線と、大小1,185の島々を抱える欧州有数の観光大国。

### ③EU加盟国

- ・2013年7月にEU加盟。現在は西バルカン諸国のEU加盟を後押し。
- ・2020年前半にEU議長国(半年間の任期)を務めた。
- ・2023年1月に通貨ユーロを導入、シェンゲン協定に加盟。

# 2 政治体制・内政ー (1) 政治体制

【政体】 大統領を国家元首とする共和制。



## 2 政治体制・内政－（２）内政の動き

### 独立～2015年頃

- （１）1991年から95年にかけて、旧ユーゴスラビアからの独立を巡り武力紛争が展開された。一部旧紛争地域では、紛争時に埋設された地雷が残るものの、現在の治安は安定している。紛争後、国内の民族構成が大きく変化した（国勢調査によると、1991年から2001年の間に、クロアチア系住民の割合は78%から90%に、セルビア系住民の割合は12%から4.5%になった。）。
- （２）1990年代を通じ政権与党であったクロアチア民主同盟（HDZ：中道右派）と旧クロアチア共産主義者同盟の社会民主党（SDP：中道左派）が二大政党とされ、独立以来、4度の政権交代が行われた。

### 現政権：第一党クロアチア民主同盟を中心とした連立与党、大統領は野党出身

- （１）2016年、前政権への不信任決議可決により実施された9月の議会選挙の結果、HDZとMOSTの間で連立が合意され、プレンコビッチHDZ党首を首相とする政権が発足した。2017年4月、クロアチア最大の民間企業集団であるアグロコル・グループの経営悪化を巡り連立与党間に対立が生じ、プレンコビッチ首相はMOST所属閣僚3名を更迭し、MOSTが連立政権を離脱した。その後与党HDZは、人民党（HNS）と新たに連立合意を結び、同年6月、内閣改造を実施した。
- （２）2024年4月の議会選挙の結果、HDZと祖国運動（DP）の間で連立が合意され、第3次プレンコビッチ内閣が発足。DPから閣僚3名が入閣した。省庁再編により人口動態・移民省及び環境保護・グリーン移行省が新たに設置された。

### 2024年の主な出来事

- （１）4月17日に議会選挙が実施された。投票率は62.3%となり前回選挙（46.9%）から大幅に上昇した。151議席中、HDZ率いる連合が61議席、SDP率いる連合「正義の川」が42議席を獲得し、いずれの党も単独過半数の獲得には至らなかった。
- （２）6月9日に欧州議会選挙が実施され、クロアチアからは12名の議員が選出された。投票率は21.34%とEU加盟国内で最低となった。
- （３）12月29日に大統領選挙第1回投票が実施された。現職のゾラン・ミラビッチ氏及びドラガン・プリモラツ氏の上位2名が第2回投票に進んだ。2025年1月12日に行われた第2回投票で、ゾラン・ミラビッチ氏が勝利し、二期目の当選を果たした。
- （４）大幅な税制改革に向けた議論と法整備が進められ、2025年1月から固定資産税等が新たに導入された。
- （５）5月にトゥルデッチ高等刑事裁判所判事が新たに検事総長に就任した。2月に政府による候補者の提案及び議会の承認がなされたことに対し、高等刑事裁判所長官がトゥルデッチ氏に関する司法倫理綱領違反の告訴状を提出したが、高等刑事裁判所判事評議会により却下された。

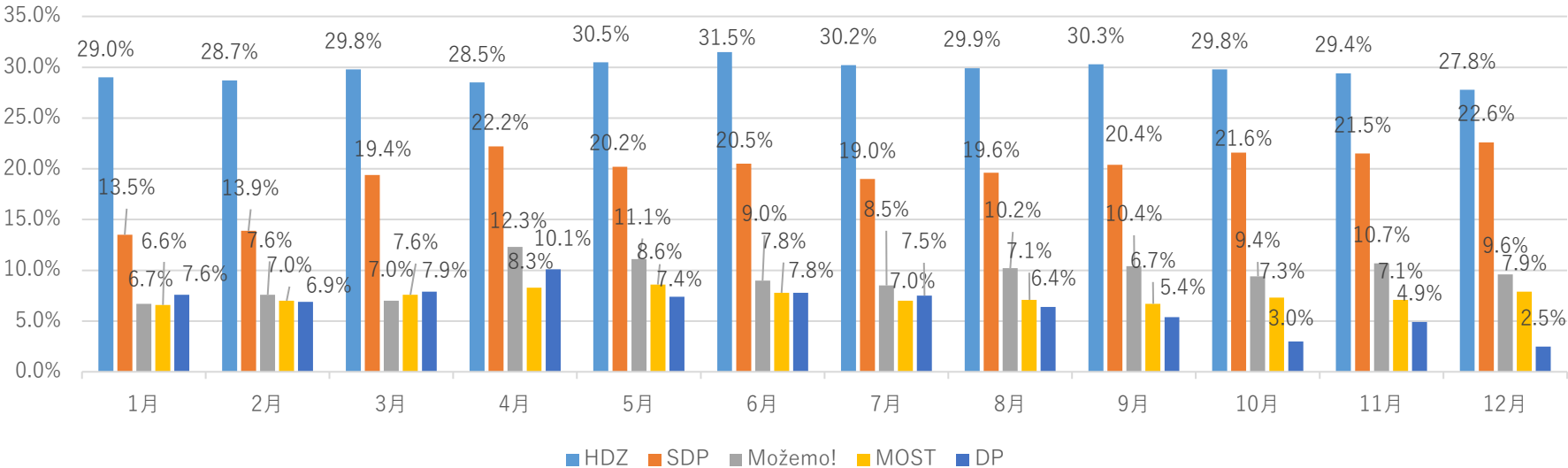
# 2 政治体制・内政－ (3) 議会政党、議席配分

【クロアチア議会における議席配分（計151議席）】（2025年1月時点）

| 【与党連立・協力議員】（計76議席）                                                                   | 議席 | 【野党】（計75議席）                                                                                    | 議席 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| HDZ（Croatian Democratic Union）<br>1989年結成（トジマン初代大統領を輩出）。2011年選挙で下野した後、2016年1月から政権与党。 | 55 | SDP（Social Democratic Party of Croatia）<br>1990年結成。旧クロアチア共産主義者同盟。過去2度（2000年及び2011年選挙）政権与党となった。 | 37 |
| DP（Homeland Movement）                                                                | 8  | MOZEMO!（We Can!）<br>2019年にザグレブ市議会議員を中心に結成。                                                     | 10 |
| HSLS（Croatian Social Liberal Party）                                                  | 2  | MOST（Bridge）<br>無所属議員による改革志向の政治グループとして2012年に結成。                                                | 7  |
| HDS（Croatian Demochristian Party）                                                    | 1  | SDSS（Independent Democratic Serbian Party）                                                     | 3  |
| HNS（Croatian People’s Party）                                                         | 1  | DOMiNO（Home and National Rally）<br>2024年DPの党内対立の結果、同党を離れた議員等を中心に結成。                            | 3  |
| HSU（Croatian Party of Pensioners）                                                    | 1  | その他小規模政党所属議員                                                                                   | 10 |
| Nezavisni（The Independents）                                                          | 1  | 無所属                                                                                            | 5  |
| 少数民族枠議員（SDSSを除く）                                                                     | 5  |                                                                                                |    |
| その他無所属                                                                               | 2  |                                                                                                |    |

政党支持率（上位5政党）

Ipsos plus 社Crobarometar（2024年毎月25日頃発表）



# 3 外交・国防

## 外交・国防の基本方針

- (1) 2009年4月、NATOに加盟。2013年7月にEU加盟。2020年1月から半年間、EU議長国を務めた。2023年1月からユーロ導入及びシェンゲン圏に加盟。また、OECD加盟を目標としており、2022年6月にOECD理事会はクロアチア等の加盟に向けたロード・マップを採択した。
- (2) 1990年代の紛争にもかかわらず、近隣諸国との関係は概ね良好。V4（ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー）との協力や3海（バルト海、アドリア海、黒海）イニシアティブを通じた取り組みなど、エネルギー安全保障や域内協力等との観点からも中・東欧諸国や地中海諸国との連携を強化。
- (3) EU、NATO、国連、中欧・地中海における活動、経済外交や開発協力・人道支援活動の強化、法の支配、人権保護及び持続可能な開発の促進、南東欧地域及び世界の平和・安定への貢献を重視。こうした方針に基づき、コソボ国際安全保障部隊（KFOR）の他、国連やNATOの平和維持ミッションに要員を派遣している。西バルカン諸国へのEU拡大による同地域安定化の促進を強く支持。ボスニア・ヘルツェゴビナ等に多く居住する在外クロアチア人の地位・権利保護も重要課題としている。
- (4) 2022年2月ロシアによるウクライナ侵略後、直ちにウクライナの主権と領土的一体性への支持を表明し、ロシア非難の関連国連総会決議に賛成、国際刑事裁判所（ICC）付託にも参加している。ウクライナに対し、人道支援物資や歩兵用装備品、ヘリコプター等を供与。2万人以上のウクライナ難民を受入。2022年10月には、初のクリミア・プラットフォーム議会サミットをザグレブで開催し、日本からは細田衆議院議長（当時）がビデオメッセージを送付した。また、2023年10月には、ウクライナにおける人道的地雷除去支援ドナー会合をザグレブで開催し、日本からは辻外務副大臣が出席した。

## 軍事力

- (1) 国防予算：15億400万ユーロ（クロアチア財務省発表2025年度予算）
- (2) 兵力：約17600人（志願制・予備役）（2023年クロアチア国防省年次報告書）

## 2024年の主な出来事

### (1) ウクライナ支援

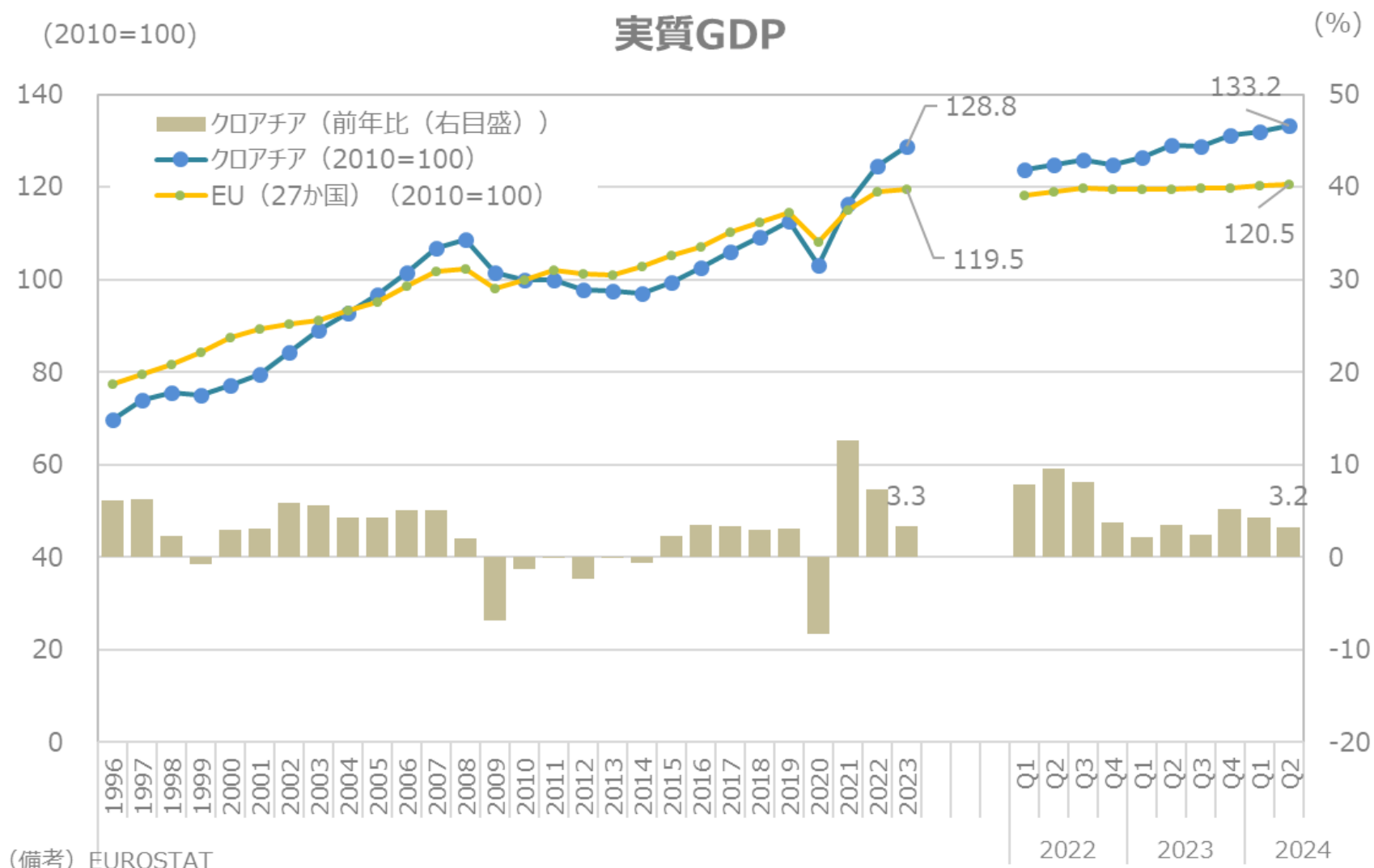
1990年代の自らの紛争の経験を活かした地雷除去支援に注力。2024年10月にはドブロボニクにて、ウクライナ政府と「第3回南東欧諸国・ウクライナ首脳会議」を共催し、ウクライナへの支持を表明する「ドブロボニク宣言」を採択した。7月にNATO首脳会合で承認されたNATO対ウクライナ安全保障支援・訓練組織（NSATU）ミッションに関しては、10月、ミラビッチ大統領はクロアチア軍の参加に合意しない旨を表明。政府は法律に則り参加案を議会に付託したが、必要な支持を得る見込みが立たないため、採決は行われていない。

### (2) 軍備強化

欧州の安全保障情勢の変化を受け軍備強化に注力。中古の仏ラファール戦闘機の導入（2021年に調達契約済み。2024年に8機納入）、ブラッドレー歩兵戦闘車の導入（2022年に調達契約済み、2023年に一部納入、配備は2026年見込み）、短距離防空ミサイルシステムの導入（2022年にMBDA仏社と調達契約済、納期は2023年から2025年）、ブラック・ホーク型ヘリコプターの追加調達（4機保有済み、2024年に追加8機調達契約）の調達を進めた。8月に高軌道ロケット砲システム（HIMARS）8基の購入に米国と合意、10月にはクロアチア軍の保有する戦車等のウクライナへの譲渡及び独からの新たな戦車の購入について独と合意した。11月にはトルコ製無人戦闘機の調達契約を結んだ。

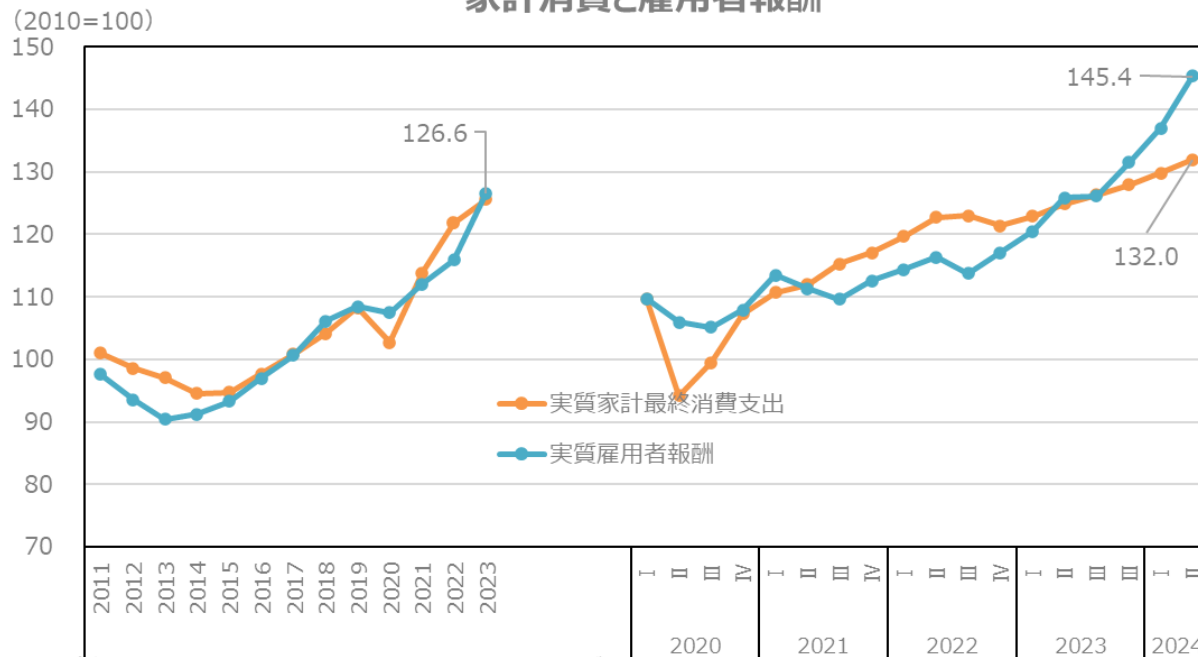
### 3 経済概況 ～ 実質GDP ～

- ・2023年実質GDPは、3.3%増。3年連続で前年を上回る。
- ・欧州委員会の経済見通し（2024年11月）によれば、2024年は3.6%増、2025年は3.3%増、2026年は2.9%増と予測。

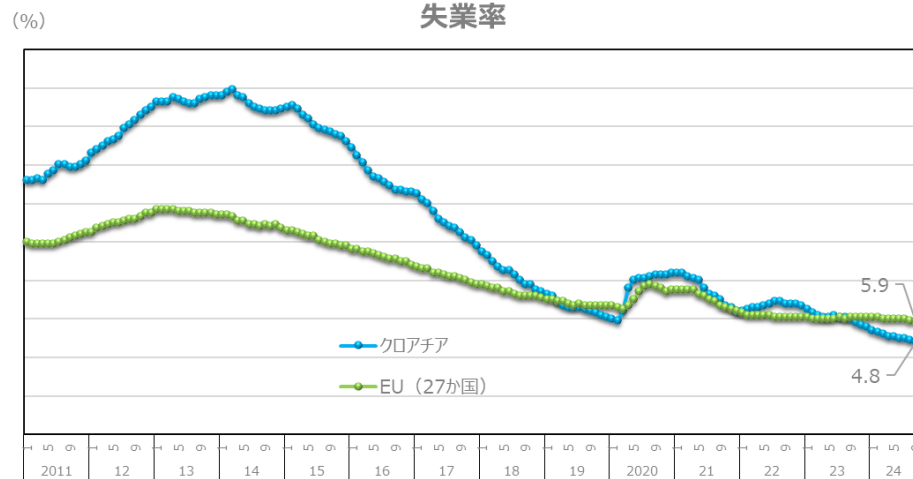


# 3 経済概況 ～ 消費、失業率、消費者物価 ～

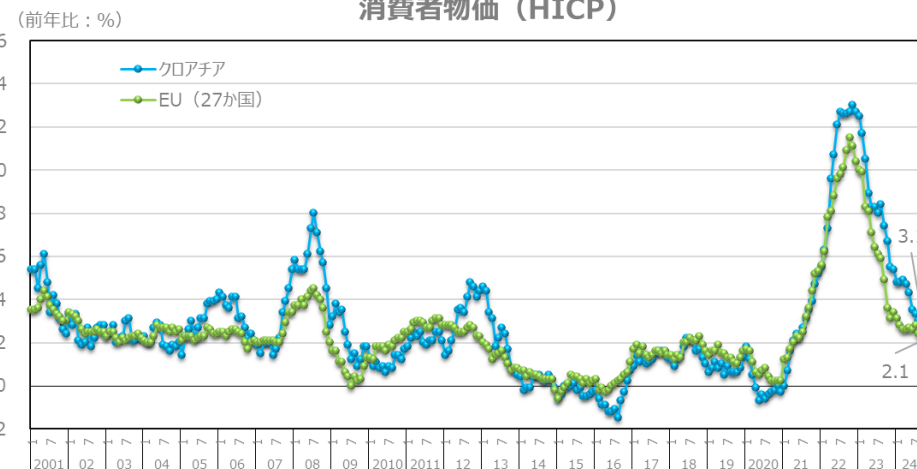
家計消費と雇用者報酬



失業率

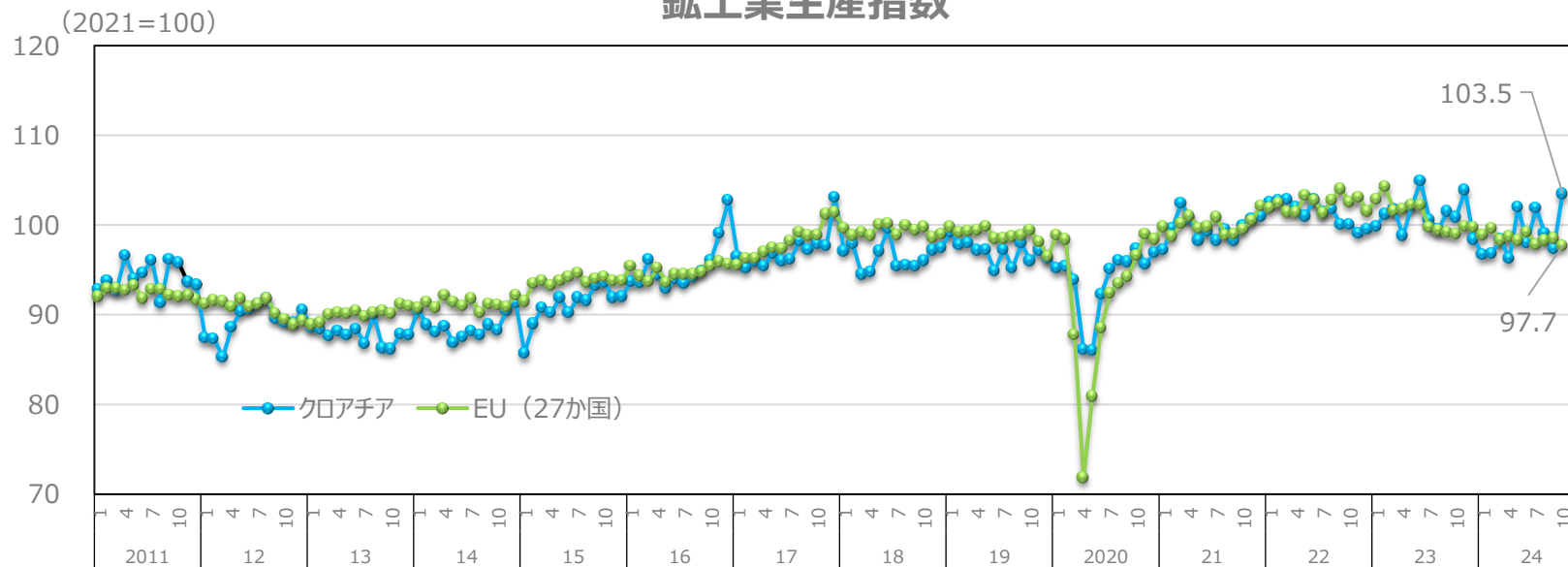


消費者物価 (HICP)



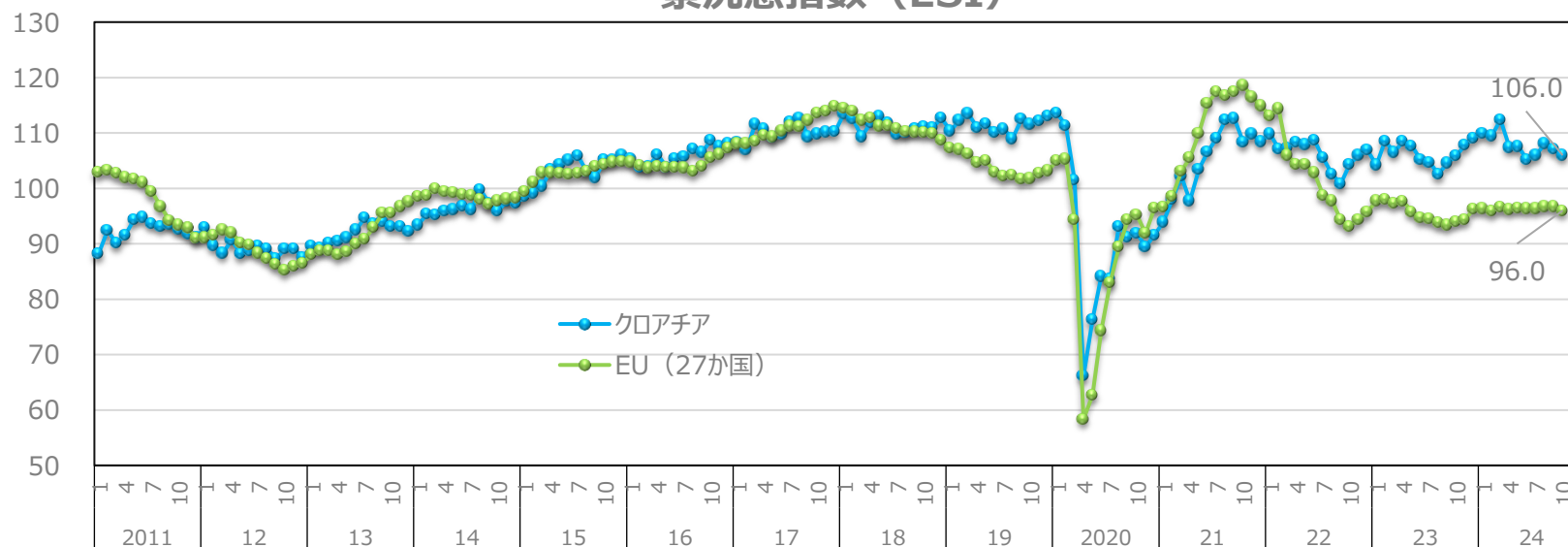
### 3 経済概況 ～ 鉱工業生産、景況感 ～

鉱工業生産指数



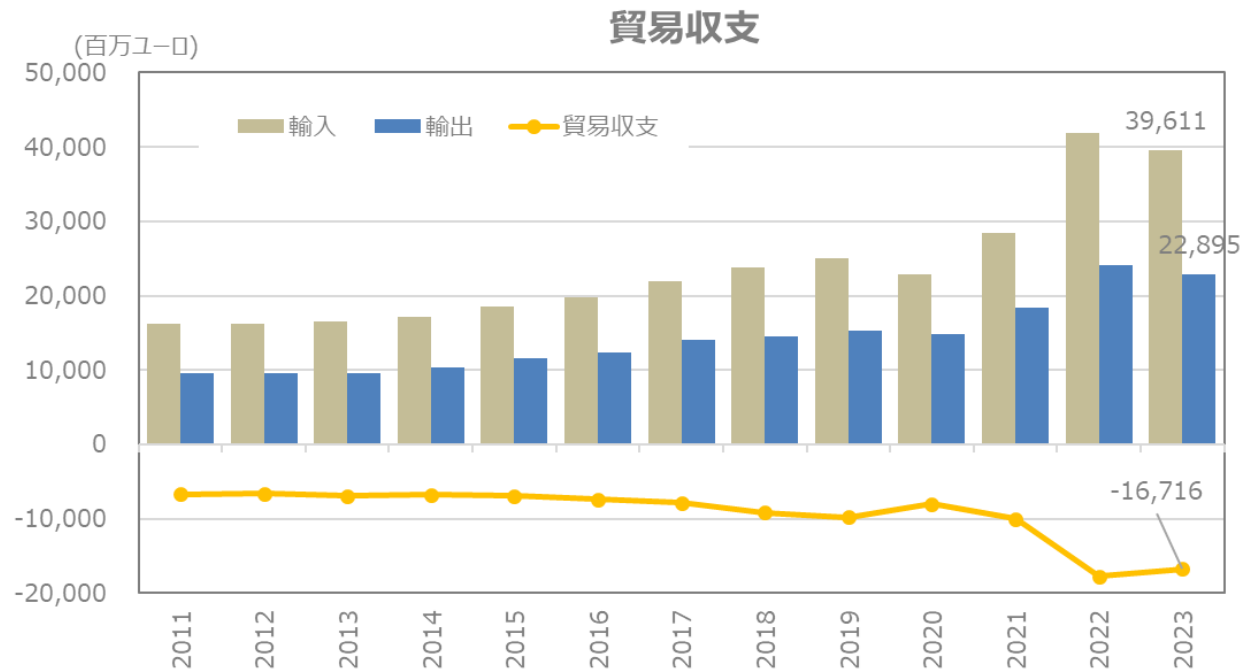
(備考) EUROSTAT。季節調整値。

景況感指数 (ESI)



(備考) EUROSTAT。季節調整値。

### 3 経済概況 ～ 貿易収支 ～



(備考) クロアチア統計局

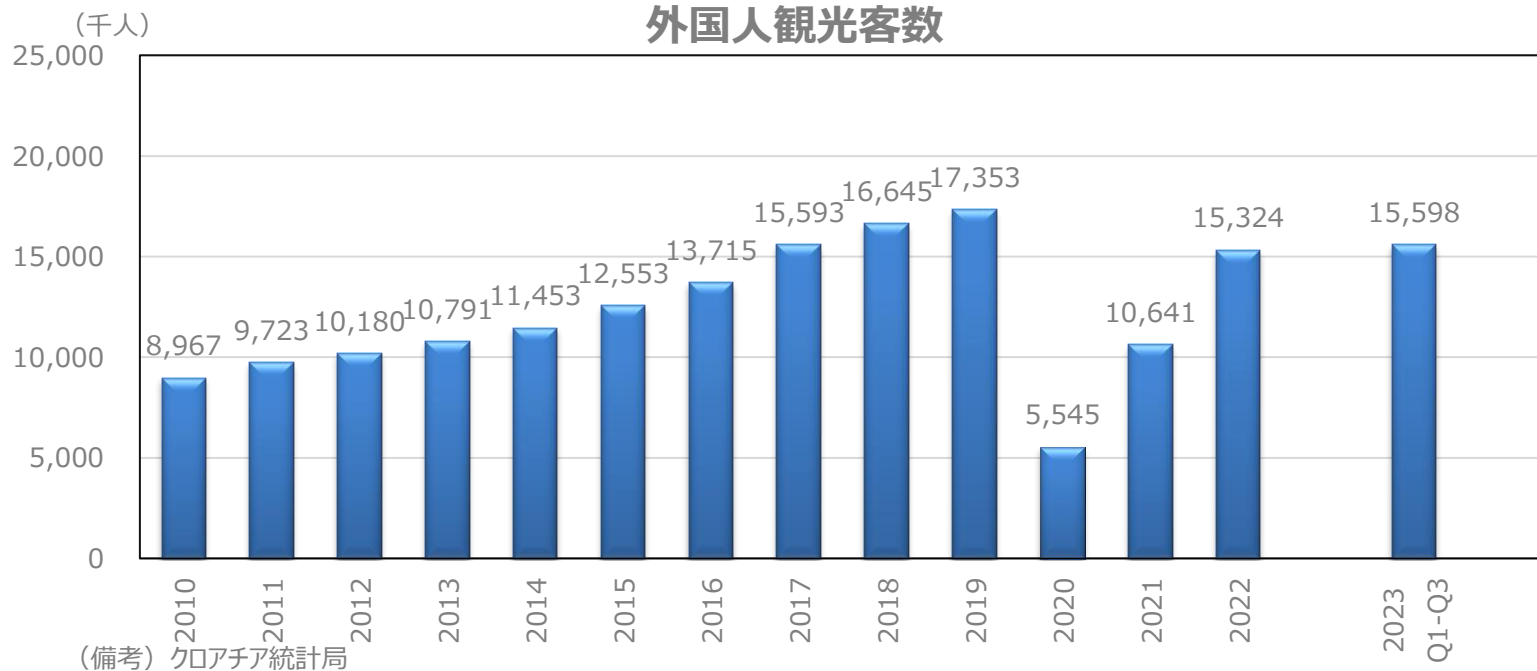
主要貿易相手国 (上位 10 か国、2023 年)

(千ユーロ)

|    |              | 貿易総額<br>(輸出額 + 輸入額) | クロアチア全体に占める<br>シェア (%) | 輸出額       | 輸入額       | 輸出 - 輸入     |
|----|--------------|---------------------|------------------------|-----------|-----------|-------------|
| 1  | イタリア         | 8,521,839           | 13.6                   | 2,794,029 | 5,727,809 | ▲ 2,933,780 |
| 2  | ドイツ          | 8,462,859           | 13.5                   | 2,802,315 | 5,660,544 | ▲ 2,858,229 |
| 3  | スロベニア        | 7,126,315           | 11.4                   | 2,567,532 | 4,558,783 | ▲ 1,991,252 |
| 4  | ハンガリー        | 4,112,952           | 6.6                    | 1,574,213 | 2,538,739 | ▲ 964,526   |
| 5  | ボスニア・ヘルツェゴビナ | 3,587,662           | 5.7                    | 2,299,670 | 1,287,992 | 1,011,678   |
| 6  | オーストリア       | 3,488,355           | 5.6                    | 1,282,536 | 2,205,819 | ▲ 923,282   |
| 7  | セルビア         | 2,315,350           | 3.7                    | 1,258,961 | 1,056,389 | 202,572     |
| 8  | ポーランド        | 2,136,460           | 3.4                    | 563,828   | 1,572,632 | ▲ 1,008,803 |
| 9  | オランダ         | 1,944,219           | 3.1                    | 371,925   | 1,572,294 | ▲ 1,200,369 |
| 10 | フランス         | 1,657,884           | 2.7                    | 586,331   | 1,071,553 | ▲ 485,222   |

(備考) クロアチア統計局

### 3 経済概況 ～ 観光 ～



外国人観光客数と延べ宿泊者数（上位10か国、2023年）

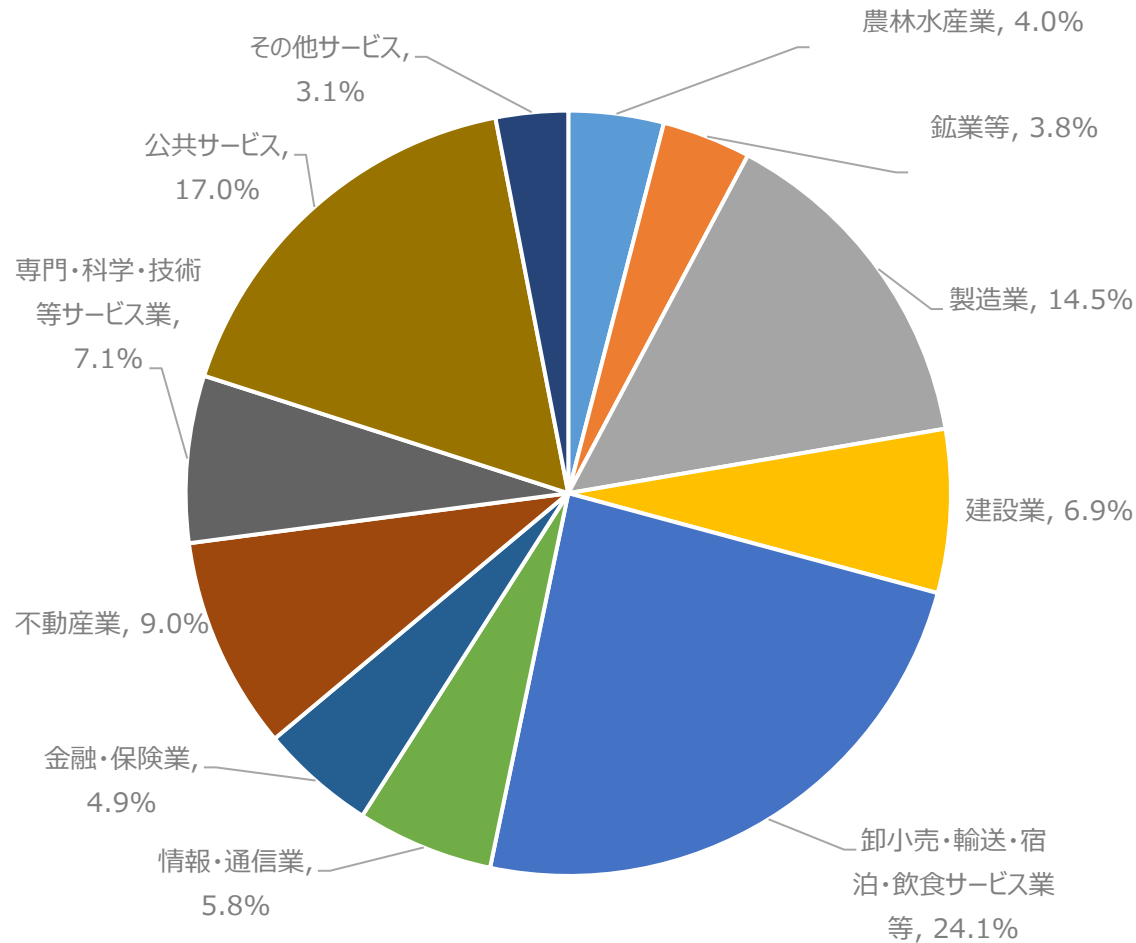
|    |         | 外国人観光客数   | クロアチア全体に占めるシェア (%) |
|----|---------|-----------|--------------------|
| 1  | ドイツ     | 3,206,708 | 19.0               |
| 2  | オーストリア  | 1,519,482 | 9.0                |
| 3  | スロベニア   | 1,509,640 | 9.0                |
| 4  | ポーランド   | 1,042,956 | 6.2                |
| 5  | イタリア    | 952,911   | 5.7                |
| 6  | チェコ     | 781,274   | 4.6                |
| 7  | イギリス    | 730,254   | 4.3                |
| 8  | ハンガリー   | 697,270   | 4.1                |
| 9  | アメリカ合衆国 | 672,553   | 4.0                |
| 10 | フランス    | 566,826   | 3.4                |

|    |        | 外国人観光客延べ宿泊者数 | クロアチア全体に占めるシェア (%) |
|----|--------|--------------|--------------------|
| 1  | ドイツ    | 22,329,473   | 26.5               |
| 2  | スロベニア  | 7,684,254    | 9.1                |
| 3  | オーストリア | 7,640,145    | 9.1                |
| 4  | ポーランド  | 6,359,514    | 7.5                |
| 5  | チェコ    | 5,010,620    | 5.9                |
| 6  | イタリア   | 3,932,149    | 4.7                |
| 7  | イギリス   | 3,466,794    | 4.1                |
| 8  | ハンガリー  | 3,326,048    | 3.9                |
| 9  | スロバキア  | 3,031,928    | 3.6                |
| 10 | オランダ   | 3,009,590    | 3.6                |

(備考) クロアチア統計局。延べ宿泊者数は、各観光客の宿泊日数を合計した値。

### 3 経済概況 ～ 産業別GDP ～

産業別GDP（2023年）



（備考）クロアチア統計局。名目値。



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【クロアチア国立劇場（ザグレブ市）】

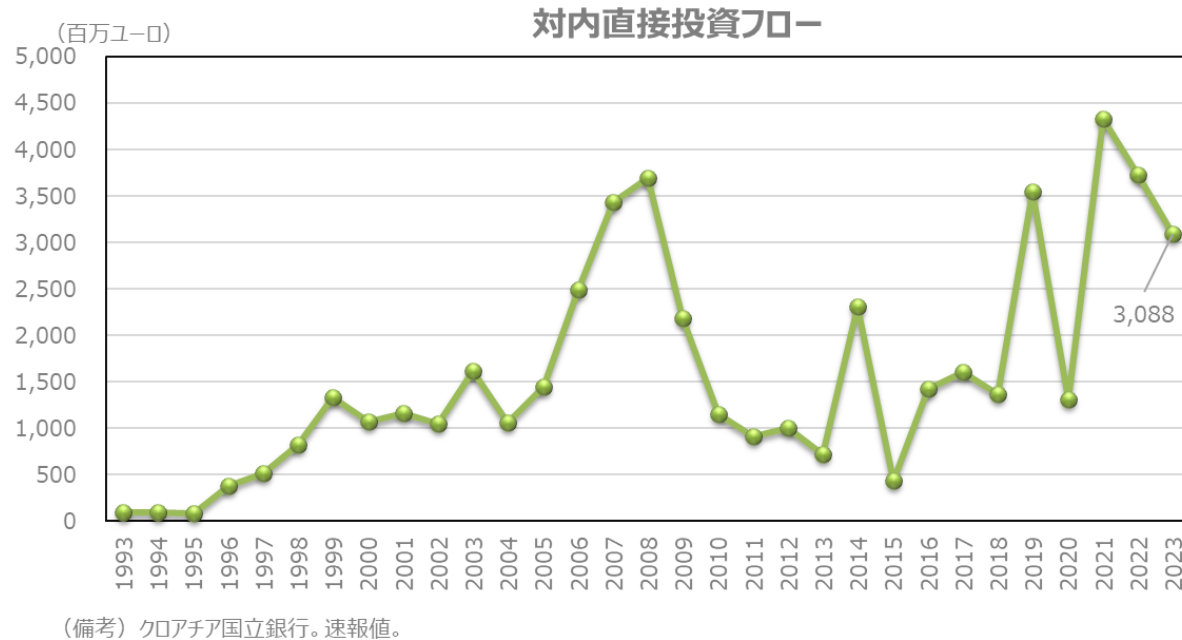


Rijeka\_foto\_Nikola Šolić /Ministarstvo turizma i sporta/  
【トルサット要塞（リエカ市）】



Sveta Nedelja\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【スヴェタネデリャ市の風景】

### 3 経済概況 ～ 対内直接投資 ～

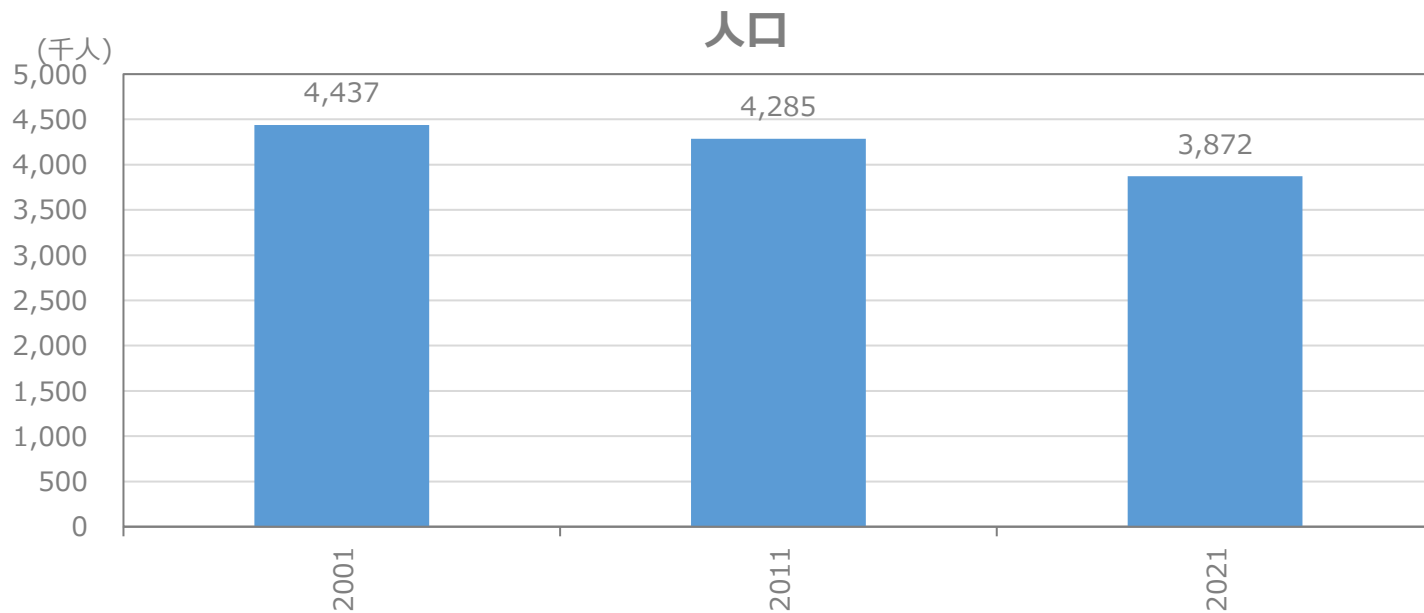


対内直接投資フロー  
(1993年～2023年の累計。産業別上位10業種)

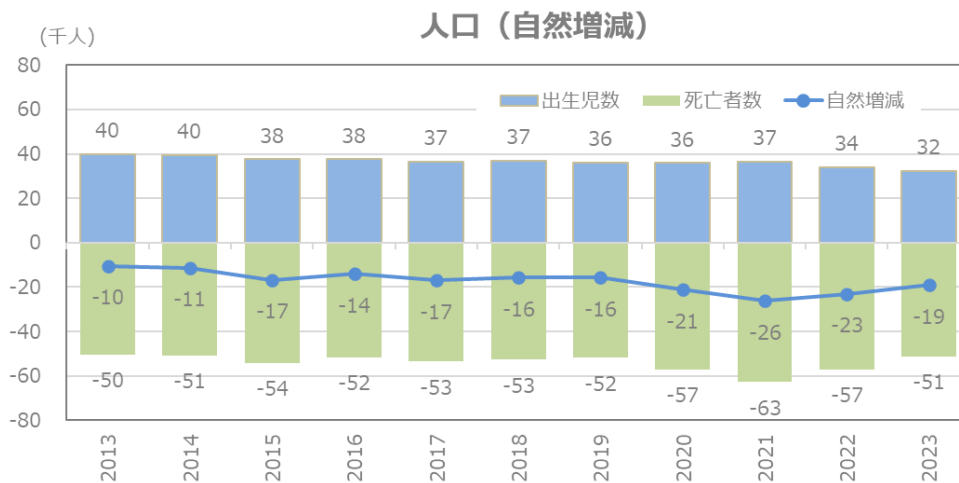
|    |                  | 投資額<br>(百万ユーロ) | クロアチア全体に<br>占めるシェア(%) |
|----|------------------|----------------|-----------------------|
| 1  | 金融サービス業（保険業等を除く） | 9,973          | 26.0                  |
| 2  | 不動産業（不動産投資含む）    | 7,923          | 15.5                  |
| 3  | 卸売業（自動車等を除く）     | 2,892          | 6.7                   |
| 4  | 小売業（自動車等を除く）     | 2,910          | 6.0                   |
| 5  | 通信業              | 1,928          | 4.5                   |
| 6  | 基礎医薬品及び医薬調合品製造業  | 1,869          | 4.2                   |
| 7  | 宿泊業              | 1,405          | 3.5                   |
| 8  | コークス及び精製石油製品製造業  | 1,142          | 3.1                   |
| 9  | 本社、経営コンサルタント業    | 997            | 3.0                   |
| 10 | 建築工事業            | 991            | 2.6                   |

(備考) クロアチア国立銀行

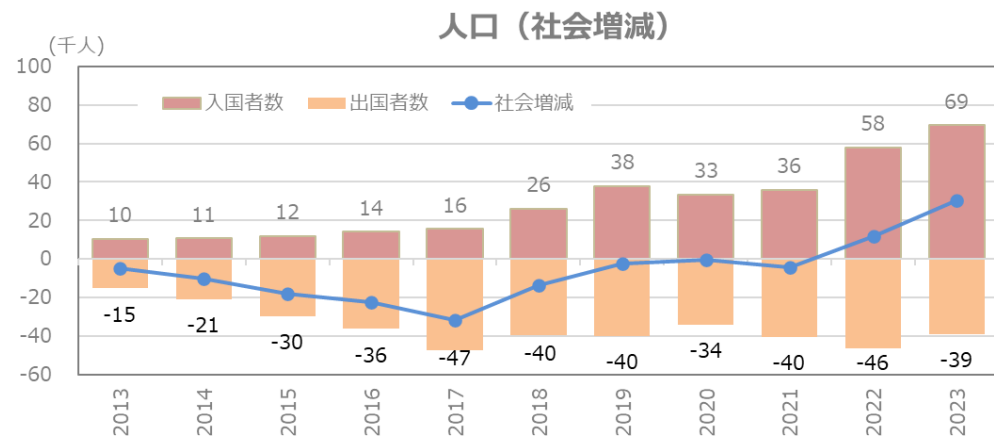
# 3 経済概況 ～ 人口① ～



(備考) クロアチア統計局。2001年国勢調査、2011年国勢調査、2021年国勢調査の数値。



(備考) クロアチア統計局

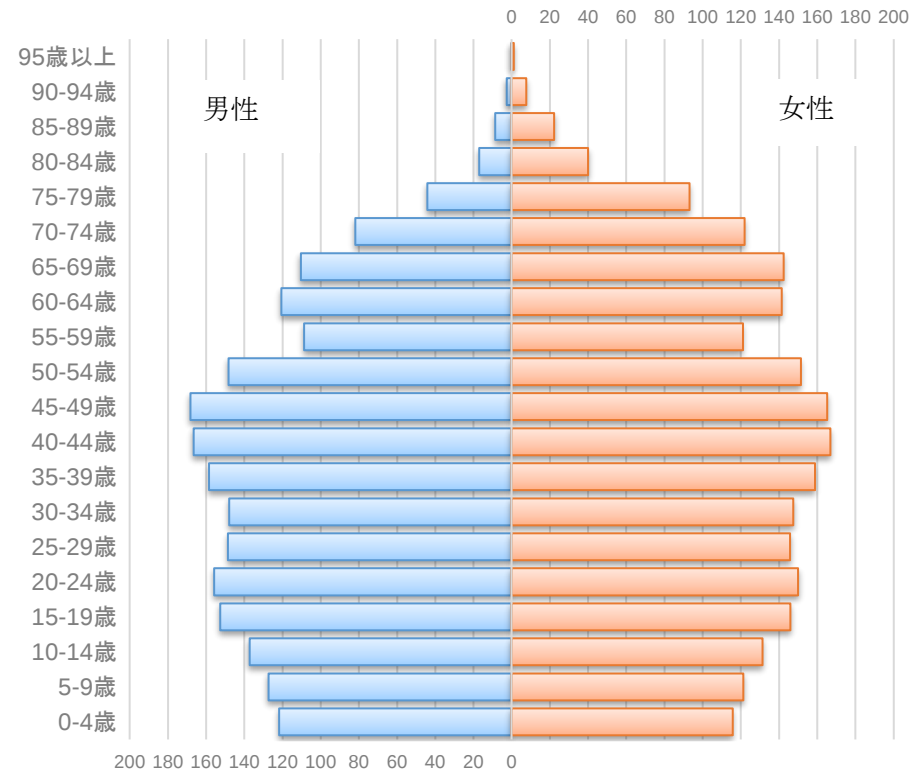


(備考) クロアチア統計局

### 3 経済概況 ～ 人口② ～

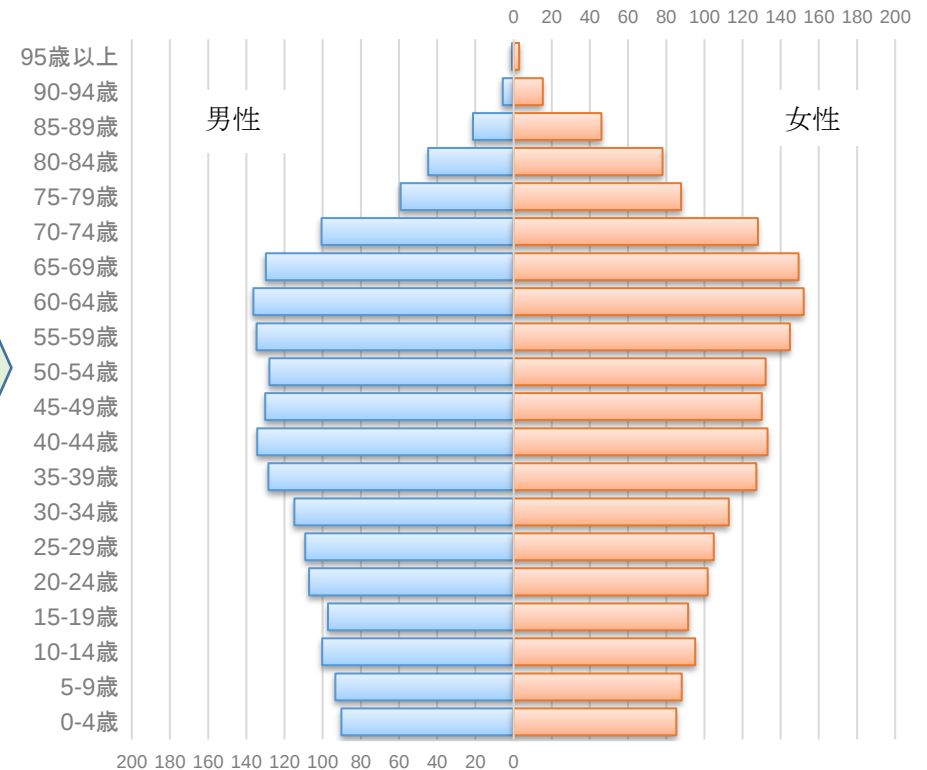
人口ピラミッド（2001年）

（単位：千人）



人口ピラミッド（2021年）

（単位：千人）



（備考）クロアチア統計局. 国勢調査

（備考）クロアチア統計局. 国勢調査

65歳以上人口の割合は、15.7%（2001年）から22.5%（2021年）に増加。

|         | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 合計特殊出生率 | 1.48 | 1.51 | 1.46 | 1.46 | 1.40 | 1.42 | 1.42 | 1.47 | 1.47 | 1.56 | 1.63 | 1.53 |

（備考）EUROSTAT

### 3 経済概況 ～ 人口③ ～

クロアチアへの移住者数・クロアチアからの移住者数（出国元／入国先別。2023年）

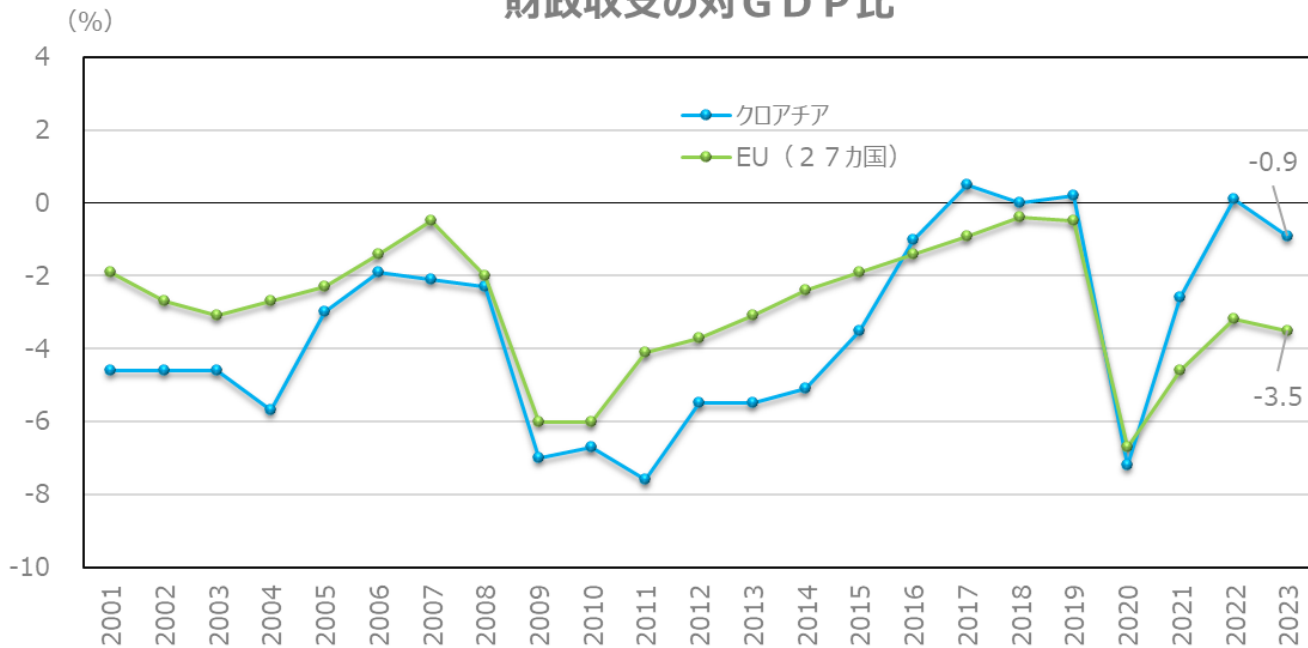
（単位：人）

| 主な出国元／入国先の<br>国・地域名 | クロアチアへの移住者数 |         |        | クロアチアからの移住者数 |         |        |
|---------------------|-------------|---------|--------|--------------|---------|--------|
|                     | 合計          | クロアチア国民 | 外国人    | 合計           | クロアチア国民 | 外国人    |
| EU加盟国               | 11,493      | 7,085   | 4,406  | 18,722       | 18,370  | 352    |
| オーストリア              | 1,060       | 763     | 296    | 4,014        | 3,998   | 16     |
| アイルランド              | 411         | 374     | 37     | 577          | 575     | 2      |
| イタリア                | 649         | 224     | 425    | 740          | 691     | 49     |
| ドイツ                 | 6,230       | 5,014   | 1,215  | 11,083       | 11,031  | 52     |
| スロベニア               | 937         | 136     | 801    | 490          | 396     | 94     |
| EU加盟国以外の欧州          | 35,754      | 2,855   | 32,899 | 15,433       | 5,632   | 9,801  |
| アルバニア               | 1,209       | 3       | 1,206  | 687          | 1       | 686    |
| ボスニア・ヘルツェゴビナ        | 8,478       | 1,578   | 6,900  | 5,762        | 2,173   | 3,589  |
| コソボ                 | 2,287       | 17      | 2,270  | 1,194        | 35      | 1,159  |
| 北マケドニア              | 2,144       | 35      | 2,109  | 763          | 43      | 720    |
| セルビア                | 5,419       | 481     | 4,938  | 3,433        | 1,159   | 2,274  |
| スイス                 | 519         | 421     | 98     | 1,672        | 1,659   | 13     |
| ウクライナ               | 13,078      | 3       | 13,075 | 299          | 1       | 298    |
| アジア                 | 17,857      | 123     | 17,732 | 2,828        | 139     | 2,689  |
| アフリカ                | 1,662       | 24      | 1,638  | 117          | 19      | 98     |
| 北米・中米               | 761         | 468     | 293    | 626          | 501     | 125    |
| 南米                  | 452         | 67      | 385    | 132          | 9       | 123    |
| オセアニア               | 243         | 168     | 75     | 241          | 208     | 33     |
| 不明                  | 1,174       | 62      | 1,110  | 1,119        | 549     | 569    |
| 合計（上記国以外の国も含む）      | 69,396      | 10,852  | 58,538 | 39,218       | 25,427  | 13,790 |

（備考）クロアチア統計局。クロアチア市民権保有者（クロアチア国民）かどうか不明の者が、クロアチアへの入国者数合計では6名、クロアチアからの出国者数合計では1名含まれている。

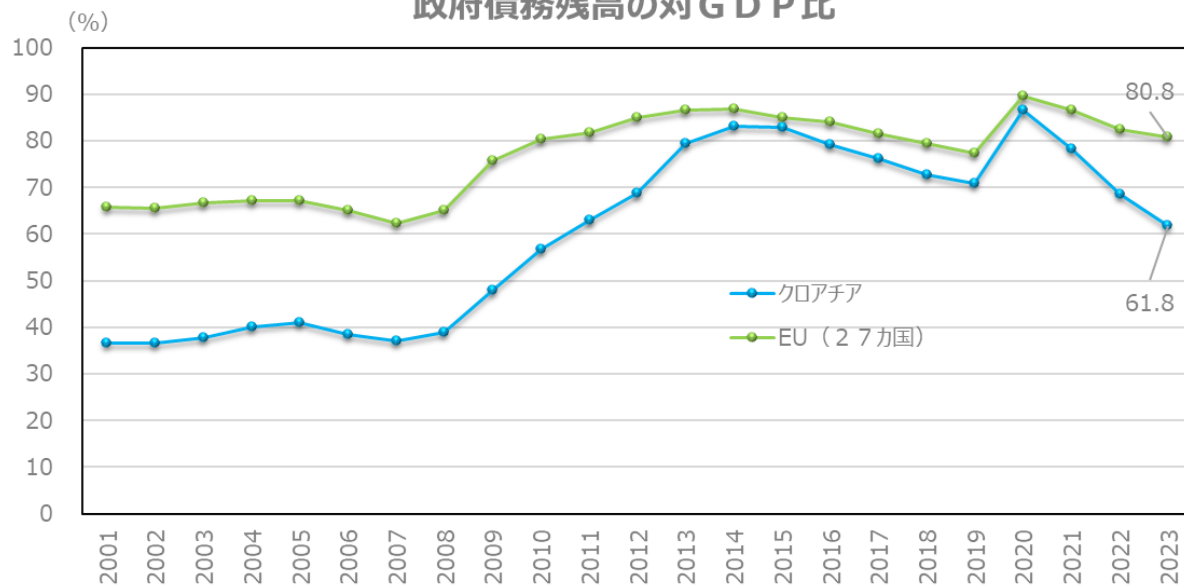
# 3 経済概況 ～ 財政 ～

財政収支の対GDP比



(備考) EUROSTAT

政府債務残高の対GDP比



(備考) EUROSTAT

## 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 基本情報 ～

### 主なタイムライン

- 1993年 外交関係開設
  - 1998年 在クロアチア日本国大使館開設
  - 1999年～2012年 政府開発援助（ODA）対象国
  - 2013年 クロアチアのEU加盟
  - 2016年 在スプリット名誉総領事の任命
  - 2019年 2月 日・EU経済連携協定（EPA）の効力発生  
9月 日・クロアチア租税協定の効力発生  
12月 日・EU戦略的パートナーシップ（SPA）のクロアチア議会承認
  - 2023年 外交関係樹立30周年  
7月 日・クロアチア航空協定に署名
  - 2025年 3月 日・クロアチア航空協定の効力発効
- ※通商航海条約、文化協力協定、科学技術協力協定を旧ユーゴスラビアより継承。

### 人口、GDPの比較

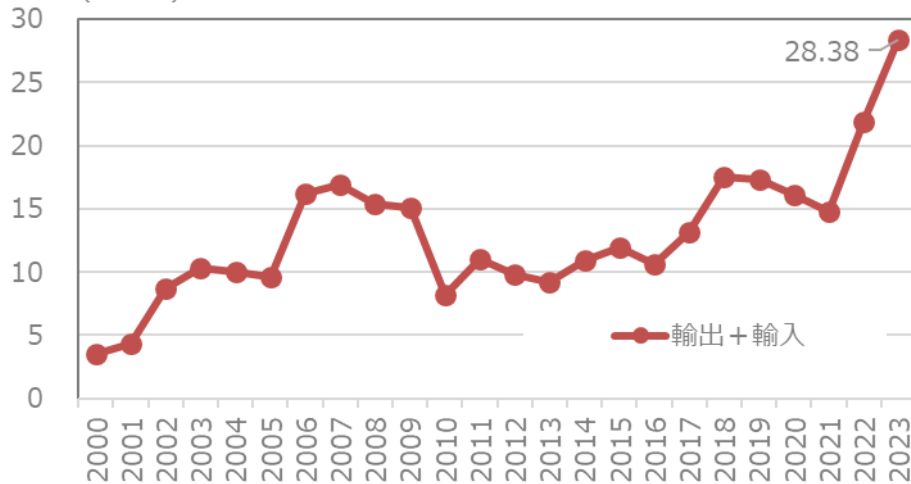
| 2023年      | クロアチア      | 日本          |
|------------|------------|-------------|
| 人口         | 385.3万人    | 1億2,551万人   |
| 名目GDP      | 827億USドル   | 4兆2129億USドル |
| 一人あたり名目GDP | 21,459USドル | 33,834USドル  |

（備考）世界銀行「World Development Indicators」（Last Updated: 11/19/2024）

# 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 2023年 ～

日・クロアチア間の貿易総額の推移

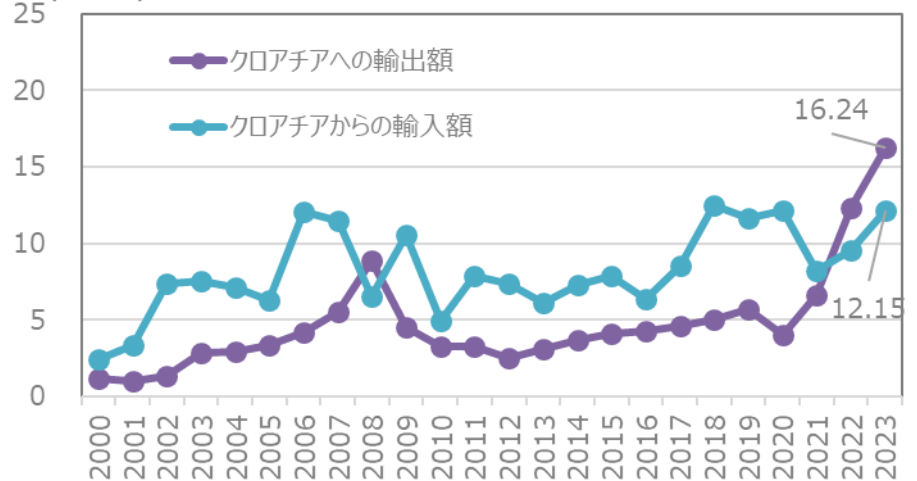
(10億円)



(備考) 財務省「貿易統計」

日・クロアチア間の輸出入額の推移

(10億円)



(備考) 財務省「貿易統計」

クロアチアからの主な輸入品 (2023年)

|   | 内容                | 金額 (千円)   | 輸入総額に占める割合 (%) |
|---|-------------------|-----------|----------------|
| 1 | 魚介類及び同調製品 (主にまぐろ) | 7,878,975 | 64.9           |
| 2 | 化学製品 (医薬品等)       | 1,973,754 | 16.2           |
| 3 | 機械類及び輸送用機器        | 675,101   | 5.6            |
| 4 | 木材及びコルク           | 488,807   | 4.0            |
| 5 | 衣類及び同附属品          | 363,863   | 3.0            |

(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。

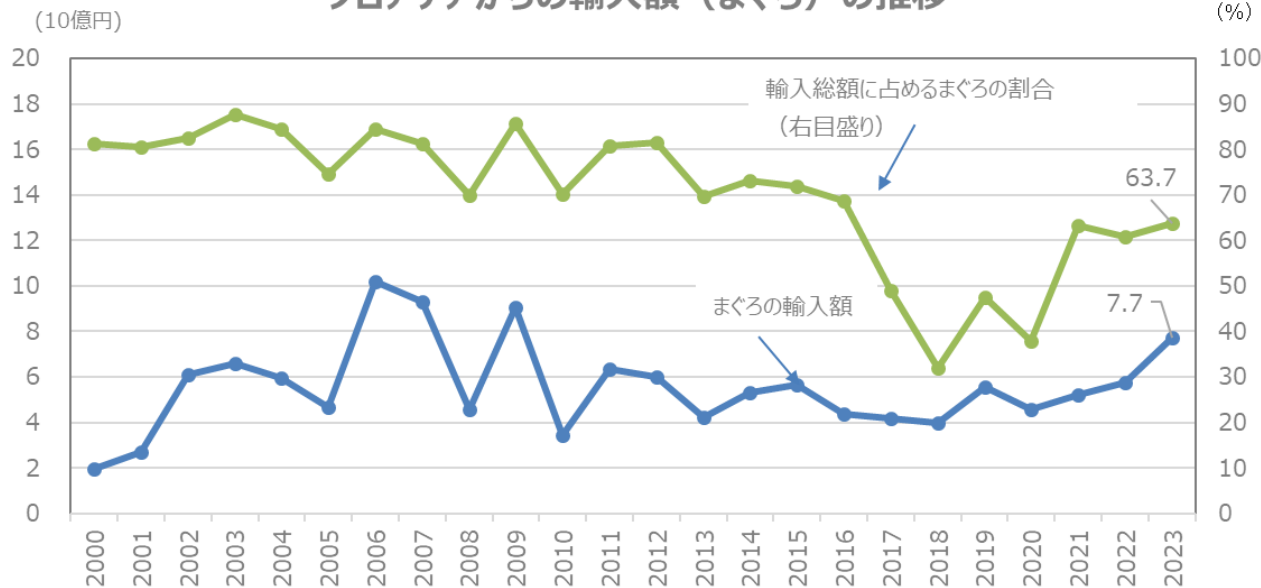
クロアチアへの主な輸出品 (2023年)

|   | 内容               | 金額 (千円)   | 輸出総額に占める割合 (%) |
|---|------------------|-----------|----------------|
| 1 | 輸送用機器 (主に自動車・船舶) | 8,000,048 | 49.3           |
| 2 | 鉄鋼               | 3,739,006 | 23.0           |
| 3 | 一般機械             | 2,145,400 | 13.2           |
| 4 | 化学製品             | 457,003   | 2.8            |
| 5 | 雑製品              | 318,843   | 2.0            |

(備考) 財務省「貿易統計 国別概況品別表」より作成。

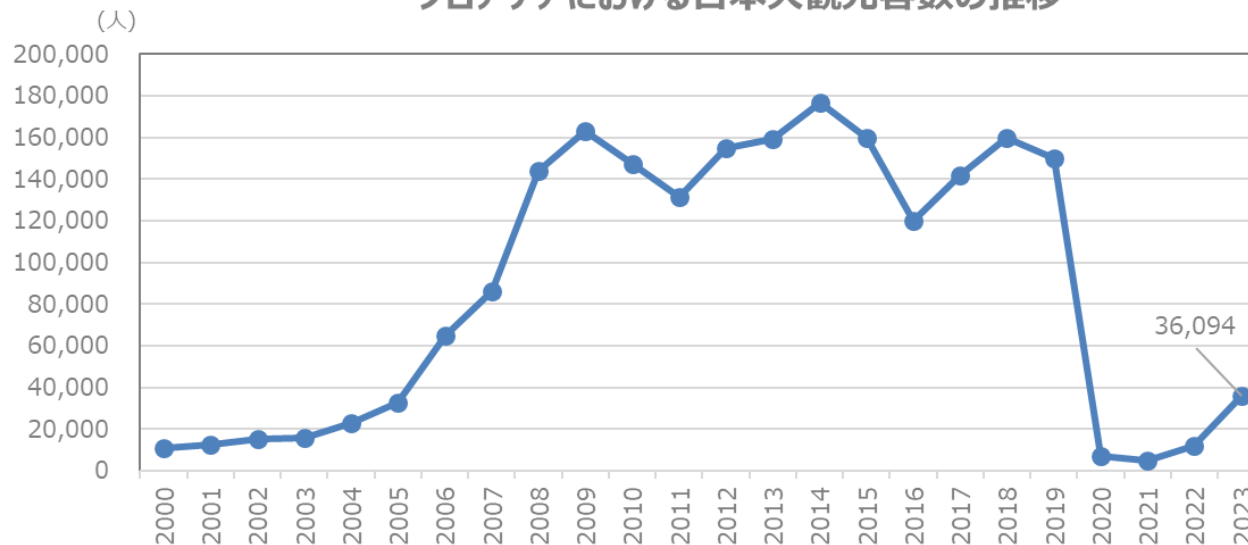
## 4 日・クロアチア経済関係の概況 ～ 貿易②、観光 ～

クロアチアからの輸入額（まぐろ）の推移



(備考) 財務省「貿易統計」

クロアチアにおける日本人観光客数の推移



(備考) クロアチア統計局

## 5 クロアチアの投資環境 ～ユーロ導入・シェンゲン圏・OECD・EU資金～

2023年1月に通貨ユーロを導入するとともに、シェンゲン協定に加盟した。

クロアチアとシェンゲン協定加盟国間の出入国審査は、陸路・海路については2023年1月1日に廃止され、空路については2023年3月26日に廃止(なおスロベニアとの国境に関しては、2023年10月21日にスロベニアは、一時的規制を導入し、2025年6月21日までの延長を発表している)。

### OECD加盟に向けた動き

- 2017年1月 クロアチアが加盟申請
- 2022年1月 OECD理事会は、クロアチアのOECD加盟に向けた協議開始を決定
- 2022年6月 OECD理事会は、クロアチアのOECD加盟に向けたロード・マップを採択
- 2023年9月 OECD Economic Surveys: Croatia 2023にて経済状況・経済政策の評価を受ける
- 2025年末 OECD Economic Surveys (2回目) (予定)

### EU資金の活用

- クロアチアは、EU資金を活用したインフラ・プロジェクト等を実施。2020年の2度の大地震からの震災復興財源としても活用。
- 2020年7月、特別欧州理事会は、コロナ危機からの経済復興のための一時的な緊急復興措置である復興基金（7500億ユーロ）及び時期多年度財政枠組み「MFF」（1兆743億ユーロ）の総額1兆8243億ユーロのEU予算パッケージに合意。
- 復興基金の主要部である「復興・強靱化ファシリティ」に関し、クロアチアは贈与63億ユーロ、融資36億ユーロ（合計約100億ユーロ。クロアチアのGDPの20%。）が利用可能とされている（金額は2018年物価による）。
- 2021年7月、クロアチア政府は、復興・強靱化ファシリティを活用するために事業プロジェクト等をまとめた復興・強靱化計画を作成し、EU理事会の承認を受けた。  
（復興・強靱化計画（クロアチア語）：[https://ec.europa.eu/info/files/recovery-and-resilience-plan-croatia\\_en](https://ec.europa.eu/info/files/recovery-and-resilience-plan-croatia_en)）

# 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ①～

## 高速道路

○全国的に高速道路網が整備されており、車でザグレブからリャブリャナまでは2時間程度、ブダペスト、ベオグラード、ウィーンまでは4～5時間程度。

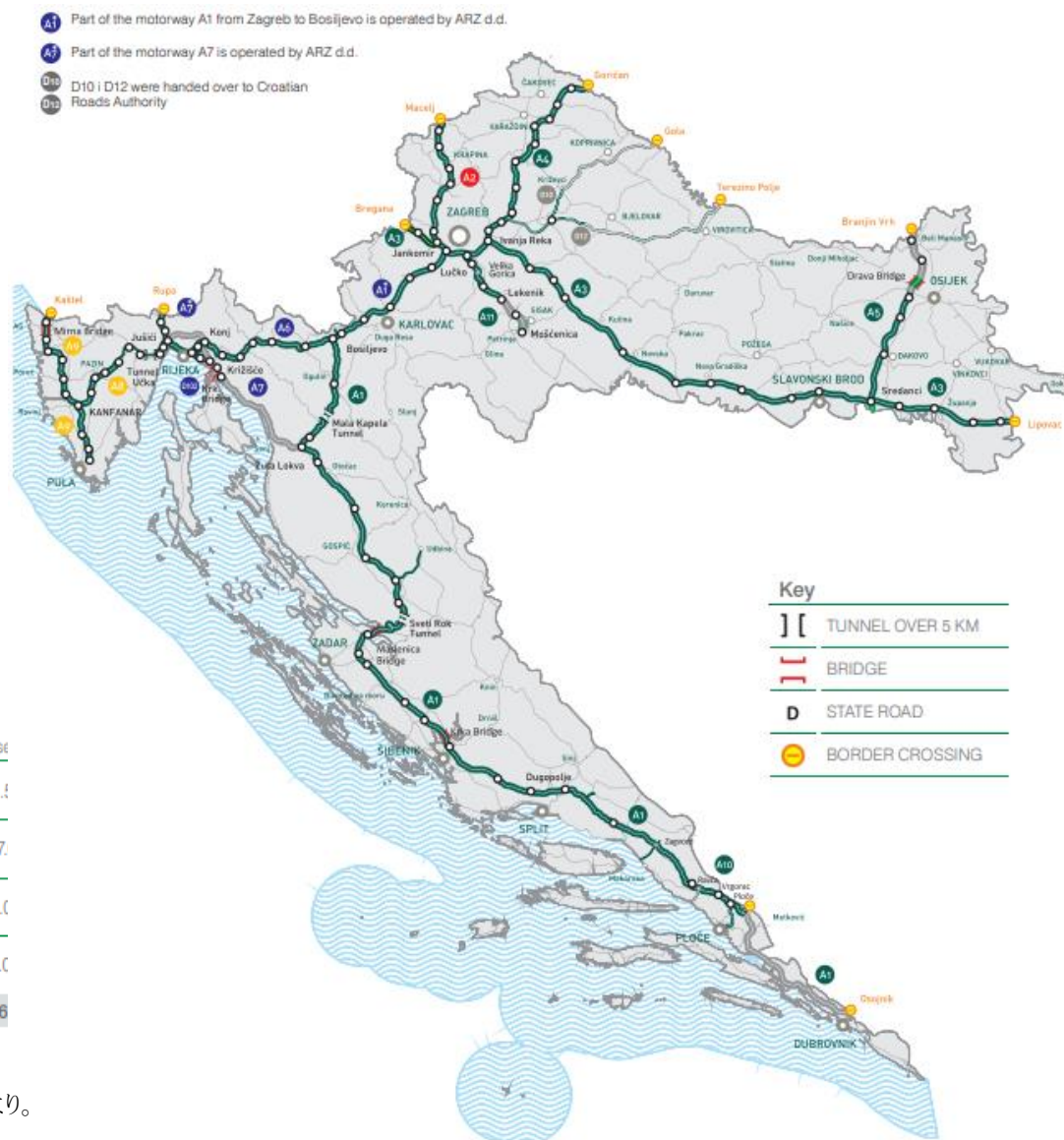
○2022年7月26日、クロアチアの大陸部分とペリエシャツ半島（首都ザグレブから南に約340キロメートルに位置）を結ぶ橋梁「ペリエシャツ橋」の開通式が行われた。接続道路を含む工事費用総額5億2500万ユーロのうち、3億5700万ユーロがEU基金によるもの。橋梁の建設は、中国路橋工程有限責任会社が請け負った。これにより、ボスニア・ヘルツェゴビナ領を通過することなく、クロアチア国土の南端まで陸路で往来できるようになった。

## Motorways in the Republic of Croatia

### Network and companies

| Company                                                                                                           | Motorways               | Status of construction | Km in service |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|------------------------|---------------|
|  HRVATSKE AUTOCESTE d.o.o.      | A1, A3, A4, A5, A9, A11 | IN SERVICE             | 918.1         |
|  AUTOCESTA RIJEKA-ZAGREB d.d.   | A1, A6, A7, D10         | IN CONSTRUCTION        | 187.0         |
|  BINA-ISTRA d.d.                | A8, A9                  | IN PROJECT             | 141.0         |
|  AUTOCESTA ZAGREB-MACELJ d.o.o. | A2                      |                        | 60.0          |
| TOTAL in service as per 31/12/2020                                                                                |                         |                        | 1,306         |

(備考) THE CROATIAN ASSOCIATION OF TOLL MOTORWAYS CONCESSIONAIRES 「NATIONAL REPORT ON MOTORWAYS 2020」より。  
<http://www.huka.hr/en/>



## 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ②～

鐵道・港灣・空港

【鐵道】

## ○欧州の鉄道貨物回廊ネットワーク

(Rail Freight Corridors

network) のうち、地中海回廊

（Mediterranean Corridor）及び  
アルプス西バルカン回廊（Alpine -  
Western Balkan Corridor）がクロ  
アチアを通る。

○全国的に鉄道網が整備されているが、その多くは単線であり老朽化。ＥＵ資金を活用した鉄道システムの近代化、複線化事業を実施中。

【**港湾**】

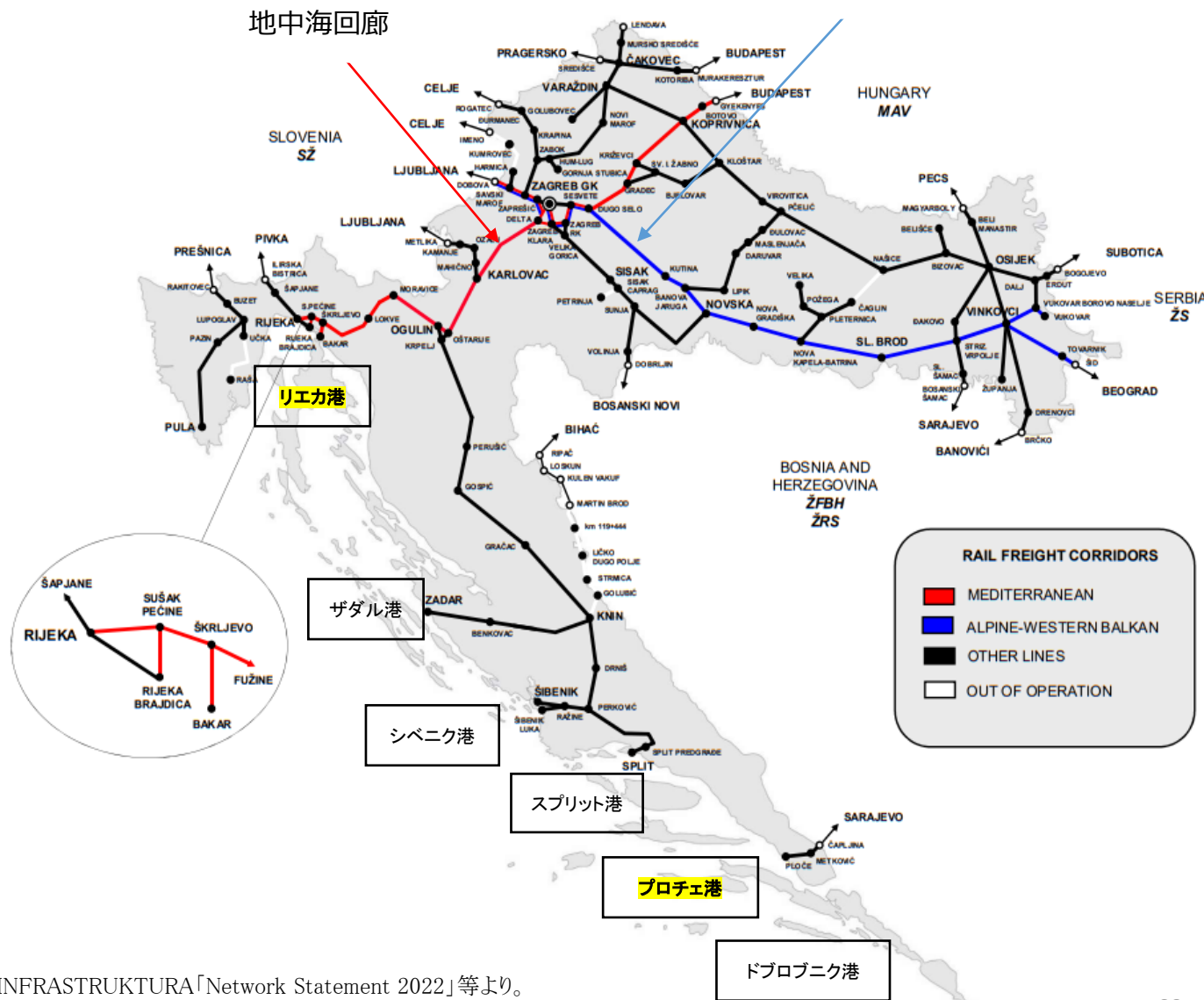
○クロアチアの主要な港は、主に貨物を扱うリエカ港、プロチェ港、シベニク港、主に旅客を扱うザダル港、スプリット港、ドブロブニク港。

オリエカ港は、欧州横断運輸ネットワーク（TEN-T）の地中海回廊に位置づけられており、E U資金を活用した開発プロジェクトを実施中。

【空港】

○ザグレブ空港、プーラ空港、リエカ空  
港、ザダル空港、スプリット空港、ドブロ  
ブニク空港、オシエク空港、ブラチ空港、  
ロシニ空港 (備考)

## アルプス西バルカン回廊



(備考) HŽ INFRASTRUKTURA「Network Statement 2022」等より。

[https://eng.hzinfra.hr/wp-content/uploads/2021/09/E2022\\_II\\_NS.pdf](https://eng.hzinfra.hr/wp-content/uploads/2021/09/E2022_II_NS.pdf)

## 5 クロアチアの投資環境 ～インフラ③～

### エネルギー

- ・電力の国内生産(2022年)のうち39.2%が水力、36.3%が火力。また、スロベニアにあるクルシュコ原子力発電所(同国と共同運営)の発電量のうち50%相当を同国から輸入している。
- ・クルク島にあるLNGターミナルは、2021年1月に運転開始。本ターミナルは、中・南東欧の天然ガス供給の安全性と多様化にとって重要とされ、国家戦略プロジェクトに位置付けられている。
- ・2022年8月18日、クロアチア政府は、LNGターミナルの再ガス化能力を年間29億立法メートルから61億立法メートルに拡張するとともに、ガスパイプライン(Zlobin地区~Bosiljevo地区)の増設を決定。プロジェクト総額は、1億8000万ユーロ(うち2500万ユーロがLNGターミナルの拡張に、1億5500ユーロがガスパイプライン増設に充てられる予定。

| エネルギー・バランス(電力) | 単位: GWh | (参考) 国内生産に占める割合 (%) |
|----------------|---------|---------------------|
| 国内生産           | 14220.5 | 100.0               |
| 水力発電           | 5573.7  | 39.2                |
| 風力発電           | 2137.8  | 15.0                |
| 太陽光発電          | 151.9   | 1.1                 |
| 地熱発電           | 72.7    | 0.5                 |
| バイオマス発電        | 719.6   | 5.1                 |
| バイオガス発電        | 409.2   | 2.9                 |
| 火力発電(石炭)       | 1558.9  | 11.0                |
| 火力発電(天然ガス)     | 3509.6  | 24.7                |
| 火力発電(石油)       | 87.1    | 0.6                 |
| 輸入             | 11919.7 |                     |
| 輸出             | 7224.9  |                     |
| 総供給量           | 18228.3 |                     |
| 送配損失等          | 1659.3  |                     |
| 最終消費量          | 16569.0 |                     |

(備考) 経済・持続可能な開発省「ENERGY IN CROATIA 2022」より作成。

[https://eihp.hr/wp-content/uploads/2024/01/Energija-u-HR-22\\_WEB-novo.pdf](https://eihp.hr/wp-content/uploads/2024/01/Energija-u-HR-22_WEB-novo.pdf)



4-24. Future development of the transmission system and projects in the function of diversification of supply and increase of efficiency of the transmission system

(備考) 経済・持続可能な開発省「Integrated National Energy and Climate Plan for the Republic of Croatia for the period 2021-2030」より。

## 5 クロアチアの投資環境 ～税率、人件費～

### 税率

法人税 : 10%又は18%

所得税 : 年収60000ユーロ以下は15%～23%、年収60000ユーロ以上は25%～33%の間で設定された上限と下限に基づき、各地方自治体が決定する。

付加価値税 : 25% (宿泊サービスや子供関連用品等の一部は13%、食料品等の一部は5%)

社会保障費 : 36.5% (雇用者負担16.5%、被用者負担20%)

(参考) 日クロアチア租税協定 (2019年9月効力発生)

投資所得 (配当、利子及び使用料) については、源泉地国 (所得が生ずる国) における課税の上限 (限度税率) が設けられ又は課税が免除される。

配当 : 免税 (議決権保有割合25%以上・保有期間365日以上)  
5% (その他)

利子 : 免税 (政府受取等)  
5% (その他)

使用料 : 5%

固定資産税 : 1㎡当たり0.6ユーロ～8ユーロの範囲で各地方自治体が決定する。

(参考) クロアチア財務省租税局ウェブサイト<https://www.porezna-uprava.hr/en/Pages/default.aspx>

外務省ウェブサイト[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4\\_006594.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_006594.html)

### 人件費

| 2023年 平均給与 (月額) | クロアチア全体 | ザグレブ市   |
|-----------------|---------|---------|
| グロス             | 1584ユーロ | 1596ユーロ |
| ネット             | 1148ユーロ | 1163ユーロ |

(備考) 経済・持続可能な開発省「Investment Guide」(2024年4月)

[https://investcroatia.gov.hr/wp-content/uploads/2024/05/Investment-guide-2024\\_-\\_web\\_.pdf](https://investcroatia.gov.hr/wp-content/uploads/2024/05/Investment-guide-2024_-_web_.pdf)

### その他

クロアチア経済会議所 (<https://investincroatia.hr/>) や経済・持続可能な開発省 (<https://investcroatia.gov.hr/en/>) のウェブサイトには、法人設立方法や投資案件など様々な情報が掲載されている。

# 5 クロアチアの投資環境 ～ 競争力ランキング ～

## COMPETITIVENESS LANDSCAPE

for 2024

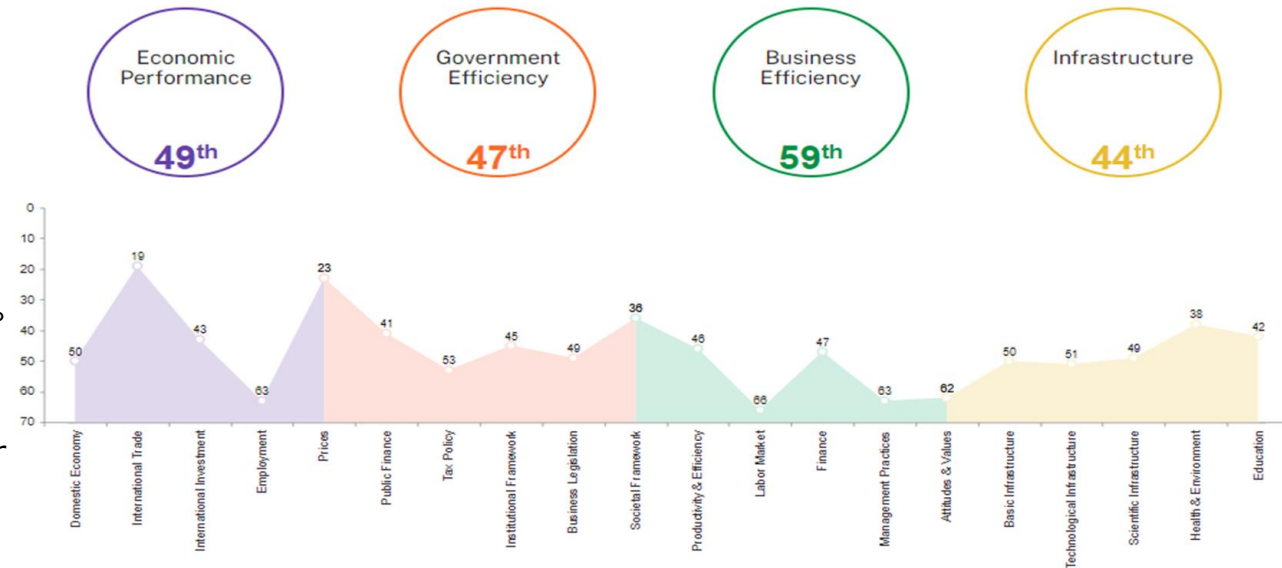
Country profile comparison

① 2024年IMD国際競争力ランキングにおいて、クロアチアは67か国中51位（日本は38位）。

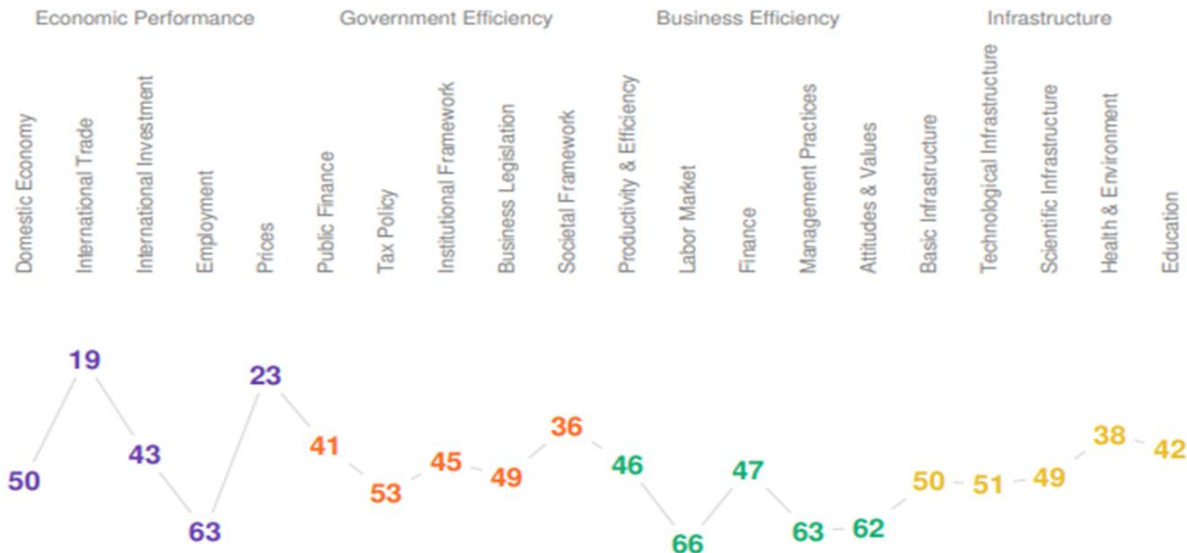
② 4つの大項目別にみると、経済状況が49位、政府の効率性が47位、ビジネスの効率性が59位、インフラが44位となっている。

（備考）「IMD世界競争力ランキング」ウェブサイトより。

<https://worldcompetitiveness.imd.org/countryprofile/HR/wcy>



## COMPETITIVENESS LANDSCAPE



## 5 クロアチアの投資環境 ～ 政府の信用格付け ～

2022年7月、EU経済財政閣僚理事会は、2023年1月からのクロアチアのユーロ導入を決定。これを受け、3つの国際的な格付機関が、クロアチア政府の信用格付を投資適格に位置付け、2024年にはAランクに上げた。

クロアチア政府の信用格付け (Credit rating of the Republic of Croatia)

| Fitch Ratings |        |          | Moody's    |        |          | Standard & Poor's |        |          |
|---------------|--------|----------|------------|--------|----------|-------------------|--------|----------|
| Date          | Rating | Outlook  | Date       | Rating | Outlook  | Date              | Rating | Outlook  |
| 2024.9.20     | A-     | Stable   | 2024.11.8  | A3     | Stable   | 2024.9.13         | A-     | Positive |
| 2023.10.9     | BBB+   | Positive | 2023.11.13 | Baa2   | Positive | 2023.9.18         | BBB+   | Positive |
| 2022.7.14     | BBB+   | Stable   | 2022.7.13  | Baa2   | Stable   | 2022.7.15         | BBB+   | Stable   |
| 2021.11.15    | BBB    | positive | 2020.11.13 | Ba1    | Stable   | 2019.3.25         | BBB-   | Stable   |
| 2019.4.2      | BBB-   | Stable   | 2019.4.29  | Ba2    | Positive | 2018.9.24         | BB+    | Positive |
| 2019.6.10     | BBB-   | Positive | 2017.3.13  | Ba2    | Stable   | 2018.3.26         | BB+    | Stable   |
| 2018.7.9      | BB+    | Positive | 2016.3.14  | Ba2    | Negative | 2017.9.25         | BB     | Positive |
| 2018.1.15     | BB+    | Stable   | 2014.3.24  | Ba1    | Negative | 2016.12.19        | BB     | Stable   |
| 2017.1.30     | BB     | Stable   | 2013.2.1   | Ba1    | Stable   | 2015.7.20         | BB     | Negative |
| 2015.8.3      | BB     | Negative | 2012.5.31  | Baa3   | Negative | 2014.1.24         | BB     | Stable   |
| 2014.8.11     | BB     | Stable   | 2008.11.19 | Baa3   | Stable   | 2013.8.2          | BB+    | Negative |
| 2014.2.14     | BB+    | Negative | 2007.7.18  | Baa3   | Positive | 2012.12.14        | BB+    | Stable   |
| 2013.9.20     | BB+    | Stable   | 2002.1.14  | Baa3   | Stable   | 2010.12.21        | BBB-   | Negative |

(備考) クロアチア国立銀行。Long Term Issuer Rating for Foreign Currency。

## 5 クロアチアの投資環境 ～主な日系企業～

- ・自動車部品開発、医療用ガラス容器製造や、船員配乗を行う企業等が活動。
- ・日系企業の多くは自動車・電機製品・医薬品等の販売店、旅行代理店、飲食店等。

矢崎ヨーロッパ・ザグレブ（自動車部品、ザグレブ）

自動車部品（配電システム用部品）の設計・開発センターとして、1999年にザグレブに進出。クロアチアの大学出身の優秀なエンジニアを採用。

ニプロ・ファーマパッケージング・クロアチア（製造、ザグレブ）

医療用ガラス容器の製造・販売を行う。2021年にニプロ社が前身のPiramida社（1950年創業）を子会社化。

豊田通商リーシング・クロアチア（リース、ザグレブ）  
日本企業として初めてクロアチアでの自動車販売金融事業に参入。

商船三井（アドリア）（船員配乗、ドブロブニク）

欧州人船員配乗会社であるMOL Maritime (Europe) B.V.（オランダ）が全額出資して設立。

イバ・ SHIPPING（船員配乗、スプリット）

NYK(日本郵船)シップマネジメント社の当地代理店。社長はスプリット日本国名誉総領事。

アステラス製薬（販売 ザグレブ）

EXITUS（コンサル・通訳 ザグレブ）

オリンパス（販売 ザグレブ）

キャノン（販売 ザグレブ）

コニカ・ミノルタ（販売 ザグレブ）

J T インターナショナル（販売 ザグレブ）

島津製作所（販売 ザグレブ）

Sulimanovic（翻訳・通訳・IT、ザブレシチ）

ダイキン（販売 ザグレブ）

武田薬品工業（販売 ザグレブ）

Tumlare Corporation（旅行 ザグレブ）

トヨタ（販売 ザグレブ）

日立エナジー（エネルギー、ザグレブ）

Pink Pig Fast Food（飲食 ザグレブ）

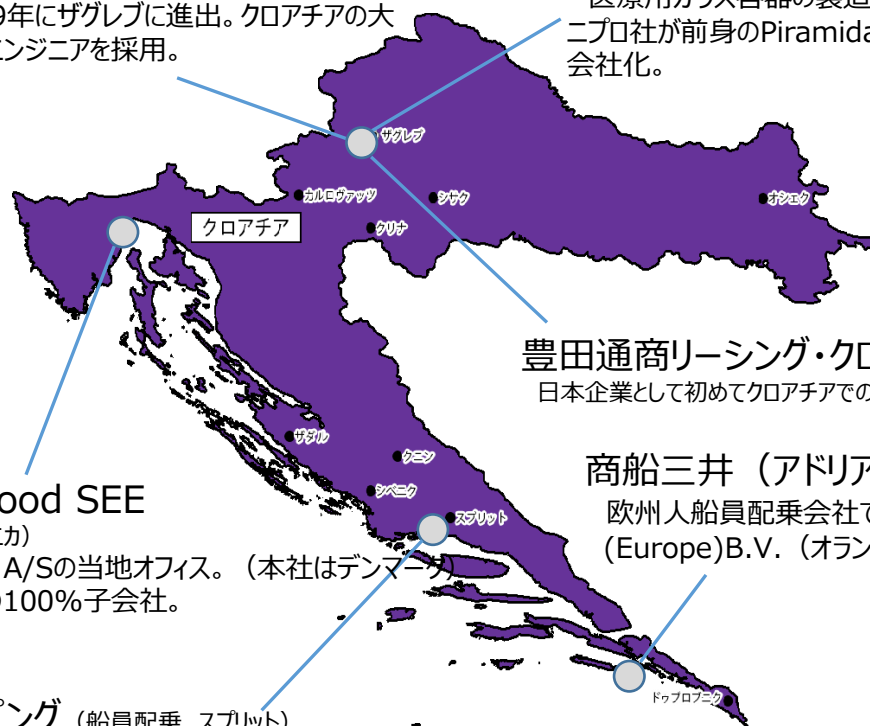
Vemi Connect（旅行 ザグレブ）

マキタ（販売 ザグレブ）

マジャール・スズキ（販売 ザグレブ）

マツダモーター（販売 ザグレブ）

ヤマグチ（飲食、ドブロブニク）



Nordic Seafood SEE

（水産商事事業、リエカ）

Nordic Seafood A/Sの当地オフィス。（本社はデンマーク）  
株式会社ニッスイの100%子会社。

※上記以外にも日本企業の代理店等が活動している。なお、本資料は、掲載された企業との取引等の推奨等を目的としたものではありませんので、本資料を利用して被ったいかなる損害についても当館は何ら責任を負うものではありません。

# 5 クロアチアの投資環境 ～関係機関連絡先～

クロアチア経済会議所 (Croatian Chamber of Economy)

U R L : <https://investincroatia.hr/>

電 話 : +385-1-4828-382

メール : [eoi@hgk.hr](mailto:eoi@hgk.hr)

住 所 : Rooseveltov trg 2, 10000 Zagreb, Croatia

クロアチア経済省 (Ministry of Economy)

U R L : <https://investcroatia.gov.hr/en/>

電 話 : +385-1-6106-444

メール : [invest@mingor.hr](mailto:invest@mingor.hr)

住 所 : Ulica grada Vukovara 78, 10000 Zagreb, Croatia

駐日クロアチア共和国大使館 (Embassy of the Republic of Croatia in Japan)

U R L : <http://jp.mvep.hr/en/>

電 話 : 03-5469-3014

メール : [tokyo@mvep.hr](mailto:tokyo@mvep.hr)

住 所 : 150-0012 東京都渋谷区広尾3-3-10

ジエトロ・ウィーン事務所

U R L : <https://www.jetro.go.jp/austria.html>

電 話 : +43-1-587-56-28

メール : [wien\\_info@jetto.go.jp](mailto:wien_info@jetto.go.jp)

住 所 : Parkring 12A/8/1, A-1010 Wien, Austria

在クロアチア日本国大使館

U R L : [https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop\\_ja/index.html](https://www.hr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html)

電 話 : +385-1-4870-650

メール : [economy@zr.mofa.go.jp](mailto:economy@zr.mofa.go.jp)

住 所 : Boškovićeve 2, 10000 Zagreb, Croatia



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【ザグレブ市内】



Rijeka\_foto\_Nikola Šolić /Ministarstvo turizma i sporta/  
【リエカ港】



Zagreb\_foto\_Romeo\_Ibrišević /Ministarstvo turizma i sporta/  
【アートパビリオン (ザグレブ市)】

※本資料は、2025年2月以前の各種機関の資料や報道等により当館が作成したものです。必ずしも情報について正確性を保証するものではありません。利用者が本資料を用いて行う一切の行為について、当館は何らの責任を負うものではありません。